



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 ピーエス三菱 上場取引所 東
 コード番号 1871 URL <https://www.psmic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森 拓也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 田中 良夫 TEL 03-6385-9111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (当社ホームページに決算説明動画を掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,540	△11.6	2,298	△42.4	2,287	△42.9	1,497	△47.4
2022年3月期第2四半期	53,751	3.6	3,987	38.5	4,005	40.6	2,847	54.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,605百万円 (△43.4%) 2022年3月期第2四半期 2,835百万円 (35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	32.08	—
2022年3月期第2四半期	61.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	90,905	45,511	50.1	980.16
2022年3月期	93,100	45,533	48.9	974.37

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 45,510百万円 2022年3月期 45,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	1.2	4,950	△25.2	4,800	△27.8	3,200	△29.5	68.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	47,486,029株	2022年3月期	47,486,029株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,054,161株	2022年3月期	755,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	46,682,951株	2022年3月期2Q	46,617,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2022年12月1日（木）に決算説明動画及び資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
受注・売上・利益の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国での都市封鎖に伴うサプライチェーンの停滞があったものの、製造業の輸出は持ち直して回復基調にあります。また、非製造業においては、これまで活動制限されていたサービス消費が回復したことを受け、全産業で小幅ながらも企業収益は増益基調で推移しております。大企業の設備投資においては、依然として積極姿勢を維持しており、今後も緩やかな回復が見込まれておりますが、新型コロナウイルスの感染状況や資源価格の動向、中国のゼロコロナ政策など下振れリスクも多く、当面は不確実性の懸念が色濃い景気回復になると想定されます。

当社グループが属する建設産業においては、建築分野で民間建築工事の発注が回復基調ではあるものの、熾烈な受注競争と資材・資源高により、収益性の確保が極めて困難な状況にあります。一方、土木分野では、気候変動に起因する甚大な自然災害に備えた国土強靱化対策や老朽化したインフラ整備等の建設投資が引き続き底堅い状況となっております。そのような市場環境の中、建設就労人口の減少や高齢化は依然として解消されず、慢性的な人手不足を抱えながら、限られた人的資本で様々な経営課題に取り組まざるを得ない状況が今しばらく続くものと予測されます。

このような経営環境のもと、当社は「中期経営計画2022（2022年度～2024年度）」の基本方針・基本戦略を着実に実行し、戦略テーマである「環境に配慮した事業活動を推進し、成長分野（大規模更新・PC建築・メンテナンス・海外）における収益性を強化するため、建設DXの推進と多様な人財活用により生産性を進化させる」ことを最優先に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高539億50百万円（前年同四半期比4.8%減）、売上高475億40百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

利益につきましては、売上総利益の減少及び販売費及び一般管理費の増加により、営業利益22億98百万円（前年同四半期比42.4%減）、経常利益22億87百万円（前年同四半期比42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億97百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は676億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億18百万円減少いたしました。これは主に受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が20億64百万円減少したことによるものであります。固定資産は232億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億22百万円増加しました。これは主にリース資産が3億50百万円、建設仮勘定が3億25百万円、投資その他が4億47百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は909億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億95百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は347億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億10百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加いたしました。支払手形・工事未払金等が34億2百万円、電子記録債務が23億93百万円減少したことによるものであります。固定負債は106億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億36百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が1億51百万円、固定負債のその他の内、長期リース債務が2億56百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は453億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億73百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は455億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が1億19百万円増加したものの、自己株式の取得により2億5百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,947	8,476
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等	53,082	51,018
電子記録債権	1,471	1,252
未成工事支出金	2,852	2,036
その他の棚卸資産	1,362	2,511
未収入金	1,738	1,827
その他	472	683
貸倒引当金	△180	△176
流動資産合計	70,746	67,628
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,450	9,570
機械、運搬具及び工具器具備品	12,444	12,414
土地	8,697	8,701
リース資産	908	1,259
建設仮勘定	123	448
減価償却累計額	△16,695	△16,839
有形固定資産合計	14,929	15,553
無形固定資産		
	119	109
投資その他の資産		
投資有価証券	2,721	2,745
破産更生債権等	1,170	1,174
繰延税金資産	1,531	1,349
退職給付に係る資産	2,052	2,071
その他	998	1,446
貸倒引当金	△1,169	△1,173
投資その他の資産合計	7,305	7,613
固定資産合計	22,354	23,276
資産合計	93,100	90,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,457	14,055
電子記録債務	6,455	4,061
短期借入金	6,008	10,474
未払法人税等	636	715
契約負債	2,133	2,381
賞与引当金	309	338
完成工事補償引当金	200	228
工事損失引当金	99	56
預り金	1,529	1,246
その他	2,541	1,202
流動負債合計	37,369	34,759
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
繰延税金負債	27	26
再評価に係る繰延税金負債	1,255	1,255
役員退職慰労引当金	84	84
株式報酬引当金	271	276
退職給付に係る負債	3,410	3,561
資産除去債務	254	255
その他	894	1,175
固定負債合計	10,197	10,634
負債合計	47,567	45,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	31,004	31,080
自己株式	△395	△601
株主資本合計	42,938	42,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020	1,001
土地再評価差額金	1,917	1,917
為替換算調整勘定	△288	△168
退職給付に係る調整累計額	△55	△48
その他の包括利益累計額合計	2,594	2,701
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,533	45,511
負債純資産合計	93,100	90,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	53,751	47,540
売上原価	45,447	40,495
売上総利益	8,303	7,044
販売費及び一般管理費	4,316	4,746
営業利益	3,987	2,298
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	79	27
為替差益	—	28
持分法による投資利益	4	2
受取ロイヤリティー	10	6
スクラップ売却益	19	21
受取保険金	4	—
その他	20	23
営業外収益合計	139	111
営業外費用		
支払利息	35	64
為替差損	36	—
支払保証料	25	38
支払手数料	19	15
その他	3	5
営業外費用合計	121	122
経常利益	4,005	2,287
特別利益		
固定資産売却益	11	25
ゴルフ会員権償還益	50	—
その他	0	—
特別利益合計	62	25
特別損失		
固定資産除売却損	13	15
投資有価証券評価損	3	5
投資有価証券売却損	12	—
その他	—	0
特別損失合計	29	21
税金等調整前四半期純利益	4,038	2,291
法人税、住民税及び事業税	825	601
法人税等調整額	365	191
法人税等合計	1,191	793
四半期純利益	2,847	1,497
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,847	1,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,847	1,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△18
為替換算調整勘定	16	58
退職給付に係る調整額	△10	6
持分法適用会社に対する持分相当額	16	61
その他の包括利益合計	△11	107
四半期包括利益	2,835	1,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,835	1,605
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,038	2,291
減価償却費	364	435
のれん償却額	9	9
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△44	△31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	95	161
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△129	△43
受取利息及び受取配当金	△79	△28
支払利息	35	64
支払手数料	19	15
有価証券売却損益 (△は益)	12	—
固定資産除売却損益 (△は益)	1	△9
ゴルフ会員権償還益	△50	—
売上債権の増減額 (△は増加)	6,929	2,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	269	△298
仕入債務の増減額 (△は減少)	△355	△5,823
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△3,519	—
契約負債の増減額 (△は減少)	2,899	248
未払金の増減額 (△は減少)	△1,150	△774
預り金の増減額 (△は減少)	△841	△283
その他	△227	△651
小計	8,273	△2,413
利息及び配当金の受取額	79	28
利息の支払額	△35	△62
法人税等の支払額	△2,165	△525
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,152	△2,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△489	△826
有形固定資産の売却による収入	29	26
投資有価証券の取得による支出	△51	△0
投資有価証券の売却による収入	9	—
貸付金の回収による収入	0	0
ゴルフ会員権の償還による収入	50	—
その他	3	△446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	△1,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,300	4,465
リース債務の返済による支出	△37	△63
自己株式の取得による支出	△0	△235
配当金の支払額	△1,232	△1,421
その他	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,578	2,736
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△867	△1,470
現金及び現金同等物の期首残高	10,456	9,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,588	8,476

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	33,975	18,839	630	305	53,751	—	53,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	383	30	2,092	111	2,618	△2,618	—
計	34,359	18,870	2,722	417	56,370	△2,618	53,751
セグメント利益 (売上総利益)	6,006	1,876	251	203	8,338	△34	8,303

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,338
調整額(セグメント間取引消去)	△34
販売費及び一般管理費	△4,316
四半期連結損益計算書の営業利益	3,987

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,397	15,008	805	329	47,540	—	47,540
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386	96	2,312	96	2,892	△2,892	—
計	31,783	15,105	3,118	426	50,433	△2,892	47,540
セグメント利益 (売上総利益)	5,502	1,067	284	186	7,041	3	7,044

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,041
調整額（セグメント間取引消去）	3
販売費及び一般管理費	△4,746
四半期連結損益計算書の営業利益	2,298

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

受注・売上・利益の状況

区分		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		比較増減 (△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受 注 高	土木事業	41,977	74.1	33,220	61.6	△8,756	△20.9
	建築事業	13,751	24.3	19,592	36.3	5,841	42.5
	製造事業	630	1.1	805	1.5	174	27.7
	その他兼業事業	305	0.5	331	0.6	26	8.6
	合計	56,664	100.0	53,950	100.0	△2,713	△4.8
売 上 高	土木事業	33,975	63.2	31,397	66.0	△2,578	△7.6
	建築事業	18,839	35.0	15,008	31.6	△3,831	△20.3
	製造事業	630	1.2	805	1.7	174	27.7
	その他兼業事業	305	0.6	329	0.7	23	7.8
	合計	53,751	100.0	47,540	100.0	△6,210	△11.6
利 益	土木事業	6,179	74.4	5,799	82.3	△380	△6.2
	建築事業	1,907	23.0	1,063	15.1	△843	△44.2
	製造事業	62	0.7	16	0.3	△46	△74.1
	その他兼業事業	154	1.9	165	2.3	11	7.2
	合計	8,303	100.0	7,044	100.0	△1,258	△15.2